



令和6年度横浜市 農福連携セミナー

本セミナーでは、農業経営体及び福祉事業所より講師を迎え、農福連携により農業と福祉の双方に好循環が生まれている事例についてお話いただきます。
農福連携にご興味がありましたら、この機会にぜひご参加ください！

開催日 2025年2月17日(月)13時30分～

会場 横浜市開港記念会館2階7号室(定員30名)

対象者 農業者、福祉事業所関係者、関係機関職員及び横浜市職員等

参加費 無料

申込方法 メールにてお申込みください。

メールの件名に「農福連携セミナー参加申込」と記載し、本文に

①参加希望者のお名前 ②電話番号 を明記してください。

※参加申込多数となった場合は抽選とさせていただきます。

✉ mk-noseisuishin@city.yokohama.lg.jp

申込締切 2025年2月7日(金)

主催 横浜市みどり環境局農政部農政推進課

令和6年度横浜市農福連携セミナー

2025年2月17日(月)13:30～ 横浜市開港記念会館 2階7号室

第1部講師紹介

有限会社照沼農園 代表取締役
照沼 洋平氏
茨城県水戸市

創業：平成15年9月
法人設立：平成18年3月15日
ノウフクアワード2022フレッシュ賞受賞



照沼氏は、地域のIT企業と連携し、作業の増加や高度化に対応できる作業アプリを開発・導入することにより、障がい者が作業しやすい方法を考案し、作業効率の向上を図り、工賃向上につなげている。

【事業内容】

野菜事業：土耕ハウスでは、堆肥・蟹殻を使い土を作り、アスパラガス、トマト・ミニトマトを栽培。水耕栽培では、ベビーリーフ、サンチュ、リーフレタス、小松菜等を栽培。農薬を極力使わず、一つ一つ丁寧に手で摘み、袋詰め作業では、障がい福祉施設との連携で障がい者の雇用促進に取り組む。

水田事業：ミネラルたっぷりの綺麗な地下水を汲み上げ水田に使用し、稲苗からしっかり観察し良質なお米が出来るよう栽培。石垣島でも展開している。

精米事業：三つ星お米マイスター取得。

【学びたいポイント】

- 農福連携事業取組の決め手となった出来事
- 障がい者雇用の作業改善の手法
- 照沼農園のこれからの展望

第2部講師紹介

社会福祉法人無門福祉会 事務局長
一般社団法人農福連携自然栽培
パーティ全国協議会 理事長
(愛称：自然栽培パーティ)

磯部 竜太氏
愛知県豊田市



磯部氏は、無門福祉会で、障がい者支援と農福連携を推進。1988年から続く農業部門の改革として、2014年に自然栽培を導入。

無農薬・無肥料の手法により、作物の高付加価値化と利用者の就労意欲向上を実現している。かつて引きこもりがちだった利用者も農作業を通じて笑顔を取り戻し、地域農家との協力で農地も拡大。現在、耕作面積は約8ha。利用者は月平均給与45,255円を得ながら、農作業や販売活動に従事している。

また、磯部氏は「自然栽培パーティ全国協議会」を通じ、休耕地再生や地域活性化を目指し、約140の福祉施設や農家とともに農福連携を全国に拡大。「障がい者が当たり前で働ける社会」の実現を目指し一人ひとりに寄り添い続けている。

【学びたいポイント】

- 障がい者にとっての生きがい
- 支援機関に求められること
- 農福連携のポイント

会場 横浜市開港記念会館 2階7号室

📍 横浜市中区本町1丁目6番地

- ① JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分
- ② 市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分
- ③ みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分

※施設内に駐車場はありません。
公共交通機関又は近隣の有料駐車場をご利用ください

横浜市農福連携ホームページ



アクセスマップ

